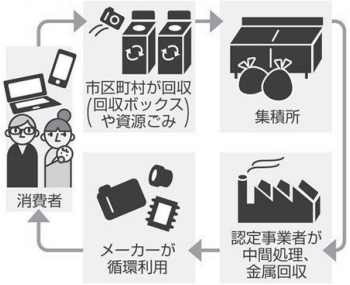
市役所内に小型家電回収ボックスを設置を検討する

江渡　信貴
（高志会）

議員　ことしの四月から、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律、通称小型家電リサイクル法が施行されたが、これに対する対応は。

市長　小型家電の回収方法はいくつかありますが、回収や分別に要する費用が大きいため、できることから取り組んでいきます。具体的には、有価物とされる小型家電が民から民へ移動していくシステムの構築に市が支援する形で事業の成立を目指しており、県の助言等を受けながら、関係団体、企業等と具体的な協議を進めています。



小型家電リサイクル制度の仕組み

議員　携帯電話やゲーム機等には、世界でも産出量の少ない金属、レアメタルが多く使われており、これらの大量の廃棄物は都市鉱山と呼ばれている。定住自立圏協定を結んでいる小坂町では、かつての鉱山の精錬技術を応用し、レアメタルを取り出し、再資源化している。これに関し、定住自立圏で取り組む考えは。

企画財政部長　まずは当市における現状や課題を把握し、連携によるメリットなどの必要性や実現可能性等を調査研究していきます。

議員　市では中小企業向けの融資制度があるようだが、リサイクル事業に特化した支援策の考えは。

観光商工部長　リサイクルシステムが構築されている先進事例を参考にし、調査研究します。

議員　市役所に小型家電の回収ボックスを設置しては。

民生部長　リサイクルシステムについては、関係団体、企業等と協議中で、ボックス回収の方向性も話し合われています。回収率などの事前の検証、試行等を行う必要があることから、市役所への回収ボックスの設置について前向きに検討します。

公害防止協定の遵守を

報告書の提出など指導徹底

今泉　勝博
（市政・社民クラブ）

議員　仙ノ沢開拓地域に予定されている、大型養豚場建設計画について、市はどのように思っているか。

市長　八月二十七日に、当該事業者から地域住民に対し説明会が開催され、養豚場施設規模の縮小及び処理水の河川放流取りやめなど、地域住民の声を取り入れた計画に変更する旨の説明があり、市にも同様の報告がありました。変更後の事業計画は、片淵川及び奥入瀬川の自然環境に配慮されており、市民の生活環境が守られているものです。また、市の畜産業の振興や雇用の場確保など、地域の活性化等に結びつくことから、事業者が地域住民に十分な説明をした上で、私としては進めてもらいたいと考えています。

議員　市は、何のために畜産業者等と公害防止協定を結んでいるのか。

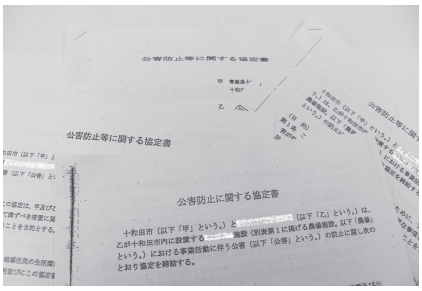
民生部長　協定ですので、お互いに守ることを約束したものと認識しています。

議員　協定による、水質測定や悪臭物質測定の結果報告は、きちんと提出されているか。

民生部長　四月の時点で確認したところ、測定しているが未提出の事業者もあったので、さかのぼって報告書の提出を受けています。今後は速やかに提出するよう指導していきます。

議員　仙ノ沢開拓地域に養豚場建設を予定している事業者が、他地域に設置している養豚場の悪臭物質測定等結果報告書では、硫化水素濃度を測定する際に、基準値と異なる数値で測定したり、定められた農場敷地境界線上ではなく、駐車場で測定している。これでは公害防止協定が守られていないのではないか。

民生部長　硫化水素濃度については、機械の測定能力の関係でこのような結果が出ましたが、指導し、違う機械ではかりなおしたところ基準値内になっています。また、測定場所についても指導し改善されています。



締結されている協定書